

太工同窓会報

第10号

昭和55年12月1日

群馬県立太田工業高等学校

同窓会

太田市内ヶ島1350

電話0276(45)4742

新任のごあいさつ

教頭 酒井 静雄

赴任した当時、電車で通勤していたので太田駅周辺で時間待をすることがありました。その時、若者が改造した二輪車に乗り、警察官が巡回くると故意に奇妙な警報を発し、「マフラー音を一層高め走り去る様子を何回かみました。それと同時に、本校生徒が参加しないわけないがとも思いました。その後、地区高校生を含むグループが赤城山方面に暴走行為をしたとの新聞発表があり、残念なことに本校生徒も、日頃の指導にも拘らず甘言にのせられ参加していました。本校としては初めてのことであり、校長を始め全職員一同協力して生徒指導にあたつた結果、他地区でも散発的にその後もみられる暴走行為も落ちついていよいよです。このような不祥事を起こさないようにする為には、弛まざる指導が必要であるとともに

保護者や地域住民の理解ある協力がなければ成果をあげることは不可能です。

次に、開校以来二回目の快挙である春季関東高校野球に出場したことあります。その際には、短期間に多額の寄附をいたゞき感謝に耐えません。このことは、本校同窓生が如何に、地域企業に貢献しているかを伺い知るとともに、立派な生徒を育成しなければならないとの認識を新たにしました。幸い、本校職員はあらゆる分野にわたって責任をもつて指導しています。肉体的にも、精神的にも無限の可能性が期待できる青年期に本校で教育を受けられる生徒は幸福であると思います。

昨今はやゝもすると自主性を尊重するあまり、家庭において放任のとなり恣意性の強い若者が多くなっているよう思います。現代のように環境をよくすることも大変ですが、それにも増して我々年輩者が毎日黙々と仕事に精を出す精神的な指導面が大切であると

以上の観点にたつて指導するつもりですが、同窓生においても、

定時制課程廃止に際して

定時制教頭 木村 允

学び舎として、明るい灯をともし続けてきた

◆◆◆

本校定時制が、その歴史の幕を閉じる事は関係職員として、誠に残念であり、哀惜の念ひ

◆◆◆

としおのものがあります。

◆◆◆

母校定時制課程の廃止に当り、

◆◆◆

この機会に定時制の歩んだ足跡を

◆◆◆

何らかの形で残しておこうではな

◆◆◆

いかという声が昨年来数多くの卒業生の声としてもり上つてしまい

◆◆◆

しましたが、本年度に入り、その

◆◆◆

声が記念事業実行委員会を発足さ

◆◆◆

せ、卒業生の総意として、記念碑

◆◆◆

の建立、記念誌発刊、記念植樹等

◆◆◆

を実施することとなりました。

◆◆◆

同窓会員の皆様には、記念事業へのご助言等、何かとご指導頂く

◆◆◆

事が多いかと存じますが、今正に

◆◆◆

消えなんとする定時制の灯を、記

◆◆◆

念碑建立等を通じていつまでも残

◆◆◆

さんとする定時制卒業生全員の切

◆◆◆

なる願い、その心情をおくみとり

◆◆◆

下さいまして、格段のお力添えを

◆◆◆

賜りますようお願い申し上げま

思います。又、若者の指導にあたっては、厳しい姿勢の中に愛情の頂き、協力しあつてよき校風をつくりあげようではありませんか。

後輩のため有意義なアドバイスを同窓生の今後の活躍を期待いたします。

懐しき恩師の母校の思い出

④本校創設の頃、鳥山の仮校舎時

④第一期の生徒は先輩がない、その為何處へ出ても負けない根

模範となる生徒が多かつたよう
に思えます。

①在職年 ②現住所 ③勤務先

④本校の思い出または印象

代先生方も生徒も一丸となつて張り切つた当時がなつかしい。

性造りに全職員一丸となつて指導に當つた。第一期生はつらい

毎日であつたと思うが、よく頑張つてくれてうれしく思つて、

いた。

①37年2月～41年3月

安井進先生

②佐野市高萩町一〇五六の二四三

③東京三景工業研究開発部

④私が赴任した時はまだ実習室等建築中でした。最初の卒業生の就職では新設校というハンディにもかかわらず、全先生方が一丸となり努力され県内で全員決定が一番早かつた様に記憶しております。

⑤

川田光一先生

①37年2月～44年3月

②太田市宝町七四九

③桐生南高等学校

④開校は桑畑を通つての現金山幼稚園、直線美に構成された新校舎に移つたのが二学期から、生徒も職員も頭は別にして気合いは十分、その中で七年間充実していました。楽しかつた

今でも人生は気合いがあり、やる気であると思つている。

柿沼武男先生

①37年2月～45年3月

②太田市福沢二〇四

③館林女子高等学校

④一、学校挙げて創設の意欲に燃えたこと。

二、野球部の創部では部員全体が協力し、努力したこと。産む苦勞ほど尊いものはない、生徒諸君が本当に真面目であった。

今回、本校に在職された先生方の本校の思い出や印象を掲載する

ことになりましたが、紙面の都合上

何回かに分けることになりました。

なお、住所不明や返信をいただけ

なかつた先生方のは、わかる範囲

でのせたいと思つています。

同窓生の皆さんも思いで多い先生

になつた。當時は特殊な設計の

体育館が地元の人達の話題にな

りました。生徒達も他高校生に

比べ素直であり高校生としての

方であろうと思ひます。

方であらうと思ひます。

最近の進路について

鈴木 敏一

同窓の皆さん、お元気で活躍のことと存じます。今年で十六回の卒業生を送り出し、多数の先輩諸兄を輩出してこの地域を中心産業界に多大の影響を与え、確固たる基盤が出来つつあります。これらも諸先輩の活躍の賜ものであります。

さて最近の就職状況ですが、数年来の減量経営の徹底は同窓の皆さんのご承知の通りだと思いますが、昨今から求人は上昇に転じ、加速された感じです。この地区では自動車(富士重工関係)の増産、

(三年間で二名以上就職の事業所)

事業所名	52年	53年	54年
太田・新田地区			
富士重工群馬製作所	30	4	8
岡本理研ゴム群馬工場	9	2	5
荻原鉄工所	4	7	7
三菱電機群馬製作所	1	2	5
沢藤電機	3	2	2
東芝シリコン	1	0	2
日本発条	0	2	2
新潟鉄工	0	0	2
荻原成器	0	0	2
大隅樹脂	0	1	1
フジヤオーディオ	1	1	0
石原プラスチック	1	0	1
ヤナセ群馬	0	1	1
館林・邑楽地区			
東京三洋電機	6	8	16
玉製作所	1	1	4
宮津製作所	2	3	3

「過去三年間」の就職状況

(三年間で二名以上就職の事業所)

埼玉県	電々公社	1	3	4	館林・邑楽地区	2	2	3
アトム化学塗料	1	1	1	4	橋本フォーミング	2	2	3
曙ブレーキ	2	3	1	1	日東電機	4	2	2
日産ディーゼル	0	2	6	1	日本ラジエータ	1	2	2
日立金属	1	0	1	3	ニプロ医工	3	2	2
秩父セメント	1	1	0	1	日本キャンパック	0	0	3
リード	1	1	0	0	北海製罐	0	6	3
エーザイ	2	0	0	2	味の素レストラン食品	4	1	2
北海製罐(岩槻)	0	1	1	1	タマボリ	1	1	2
栃木県				1	凸版印刷	4	3	1
興国化学	4	4	0	1	凸版包材	0	2	1
ハウス食品	2	0	1	1	富田電機	0	1	1
東京フォーミング	1	2	1	1	東京樹脂ライニング	0	1	1
富士通	1	0	1	1	中央電子	2	0	1
東京三洋足利事業所	1	3	1	1	東武鉄道	1	4	2
新明和工業	0	1	1	1	長谷川香料	1	1	1
バンドー化学	1	1	0	2	関東電気保安協会	2	2	2
茨城県				2	協進製作所	0	1	1
日本バイリーン	1	1	1	0	帝都高速度交通営団	0	1	1
以上				3	三和ケミカル	0	1	1
				0	ハナマルキ味噌	1	2	0
				0	日本電気サービス			
					群馬県内地区			

その関連企業の増募、また電気関係では半導体部門の強化が表わされています。それに進出企業の募集開始(日産ジーゼル・サントリ)が大きな変化を与えて います。

一方生徒の動向ですが、通勤希望が圧倒的で、とにかく自家から通いたい。中には将来転勤の心配はないかと家族からの問い合わせもあるくらいです。そして出来れば仕事がきれいで、勤務が楽で、週休の条件や、残業、交替勤務のことをまで、大変くわしく求人票を調べます。以前はこれ程ではなくつたことで、情報化社会の縮図のようですね。相談を通して感じることは、総じて職種の認識が甘く、勤務条件は楽な方へと解釈しがちのようですね。

同窓会員の近況

第一期生として私は今

双葉オート株高崎営業所
所長(一期M) 新井 金作

卒業後今日まで、私は自動車と

卒業後今日まで、私は自動車と共に歩んで来ましたが、今勤務している双葉オートは、太田市矢島に本社、高崎に営業所を設けて、主にフォード車を中心に外国車の販売、並に整備を行つておりますが、入社してすでに十三年半になりました。現在私は双葉オート高崎営業所に勤務し、販売に専念しておりますので、毎日車で大泉町の住いから通うのも、もう五年になりました。おかげで高崎・前橋方面の地理も大分明るくなりましたし、お客様も増えました。

この様な社会環境になつて来ますと、仲々外車ディラーとして、業績を伸ばしていくのも、並大低なことではありますんが、常に「己に勝つ」という言葉をモットーに、今后共に頑張つてやるつもりです。皆様も今度車を買い替えられた時は、是非共私の方にも声を掛けて下さい。お待ちしております

仕事以外には、今ゴルフをやつておりますので、機会がありまして、こちらの方も一声掛けて下さい。さあ、どうぞ。

太工卒として、はすかしくない様、仕事にも、社会生活においても、頑張つていきたいと思いますので、今后共よろしくお願ひ致します。

第7回群馬県青年 海洋大学に参加して

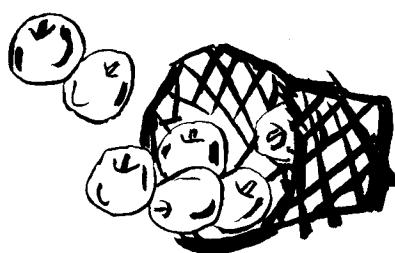
富士重工(十一期M) 高山慶造

私は、入社以来、スバル技術本部車体試作部試作工作課で、自動車開発の試作車担当の職場で元気にして働いていますが、七九年十二月出発の青年洋上大学に参加する機会を得たので、ここに報告いたします。晴海より中国へ向け出航し

たが、十六日間の日程で、陸上活動は天津、北京の四日間と上海の二日間で、乗船したのは「にっぽん丸」約一万トン。船内研修では中国語会話、ゼミナール、クラブ活動、各種講議等。
この中で頭を悩ませたのがゼミナールで、睡眠時間をさいての活動だつたが、それでなくとも平均四時間だつた。天津新港での歓迎はすばらしかつた。約四百人位の小中学生が中国楽器を使つて盛大に熱烈歓迎をしてくれた。
天津体育館ではそれ以上で館外では、一万人以上の市民、館内でも五千人の小中学生。ここではスボーツ、文芸交歓を行なつた。
バレーボールの日下混合試合、各日本武道の披露、ダンスや八木節。私は八木節のツヅミを担当。
船内練習ではメンバーをまとめるだけで終始したが、どうにか全員を統一できた。八木節を経験した者は数人しかいなくて、教えるにも一苦労だつたが本番ではどうにかできた。天津ではほかに小中学など、三日目に北京へ向け列車で出発。

へ。四日目の夜に上海へ向けて出航。上海では主として工人新村、人民公社、スポーツ体育学校など。工人新村と人民公社の違いは工業と農業の違いだけで、ほかは学校、小規模工場、病院等は一つの地域内にある。どちらにも日本に関係するものがあり興味をひいた。帰りの船も何かと忙しかつたけれど、大変に素晴らしい体験ができた。この洋上大学の参加者は各地域の積極性のある人間の集まりだけに各団員から吸収するものが多く、有意義な勉強ができた。

生きた勉強の旅とでも言える洋上大学は、一生に残る思い出となつた。



活躍するクラブ活動

太田工業高校生徒会

クラブ名	大会名	種目	出場選手チーム	会場	期日成績
野球	春季高等学校野球関東大会 県予選			前橋・高崎市	4/10~5/4 準優勝
	春季高等学校野球関東大会 全国高等学校野球選手権大 会県予選			山梨県	5/10~15 一回戦敗退 準々決勝進出
				前橋・高崎市	7/15~28 (ベスト8)
陸上	群馬選抜東西対抗陸上競技 大会	3000m	中村 宏	関東学園大祭 分福陸上競技場	7/13 2位
	第35回国民体育大会 県予選	3000m	中村 宏	伊勢崎市陸上競 技場	8/2 3位
バスケット	群馬県高等学校新人戦 関東ブロック大会		15名 榎本 孝志 (群馬選抜)	前橋市 川崎市	11/13 ベスト8 8/29 2回戦出場
体操	関東高等学校体操選手権大会		鈴木 達也	上尾市	6/6~8
ラグビー	昭和54年度新人戦			高崎高校	2/10 準優勝
	昭和55年度総体		20名 20名	前橋県営ラグビー場	5/7 ベスト8
スケート	全国高等学校総合体育大会 第29回全国高等学校スケ ート競技選手権大会	500m 1500m	斎藤 浩 柿沼 康修	釧路市	予選 1/20~23 1組 1部 7組 5位
	群馬県高等学校スケート競 技大会	1500m 500m	斎藤 浩	伊香保町	1/13~14 1部 2組 5位
					総合準優勝

学校だより

横山日出雄先生（教頭）伊勢崎工業
職員移動 昭和五十五年四月

他にも新鋭設備がなされ環境が整
い効果的な教育活動が出来るよう
に設計されています。

二階は音楽・視聴覚室、二二五
平米でステージ・映写室・スクリ
ーン・階段状に九十席が設備され
ている。又天井は音響効果が工夫
され、防音断熱材が施されている。
のようになります。

路からアルミ展示ケースが見え
れ来春の竣工をめざして急ピッチ
で工事が進められています。

一階は図書室、二二五平米で通
路からアルミ展示ケースが見え
常に新刊が紹介され、生徒の読書
意欲を誘させるよう。閲覧室は広
く読みやすく、ブラウジング、コ
ーナーも設備され密な運営が可能
になりました。

覚室と図書室が新学期と共に入札
が行なわれました。建物は長さ二二・五
米、高さ九・二米の二階建。延床
面積は四五〇平米で体育館裏、図
書室、職員室に並行しており、夏
季休暇の終り頃から基礎工事が始
められ、現在は鉄骨・塀板が組ま
れています。

情操教育の館誕生

新島三郎先生 (体育) 大泉高校へ	菊地丞三先生 (数学) 館林高校へ	根岸弘先生 (数学) 館林高校へ
小川重夫先生 (定数) 伊勢崎工高校へ	酒井静雄先生 (教頭) 高崎工高校より 片山紀昭先生 (機械) 伊勢崎工高校より 加藤智久先生 (数学) 利根農林高校より 機岡陸朗先生 (体育) 大泉高校より	
須永秋三 (三期M)	中島央雄 (九期E)	北爪久夫 (三期C)
講んでおくやみ申し上げます。	太工同窓会活動の一つとして、 みなさまにお知らせする機關紙、 同窓会では、既に三十六名の方 々が永眠されました。	会報がめでたく第十号へと進展致 しました。今回の発刊につきまし ては、同窓会本部役員の協力を得 まして、無事発刊させる事ができ ました。
又原稿をお寄せいただいた関係 各位の皆様にお礼申上げます。 会報配布について、一人でも多 くの同窓生の皆様に見ていただこ うと役員一同頑張っております。 又会報発刊号より第十号迄希望の 方は事務局迄	（松原記）	